

築堤・築城

1350

年

地域活性化総合特区に向けた取り組みについて



水城跡100年ぶりの土壠断面大公開



福岡県が国から第一次指定された「グリーンアジア国際戦略総合特区」のように、総合特区制度の中には、「地域活性化総合特区」がある。そこに、世界遺産に登録された地域内での文化財活用の事例で、平成23年12月に、第一次指定された「和歌山県『高野・熊野』文化・地域振興総合特区」がある。和歌山県は、総合特区に

ながら、昨年開催された熊本県での記念講演でのことを紹介し今回の質問とした。

元防衛大学校校長で、現在、熊本県立大学理事長の五百旗頭真（いおきべきこと）先生が講演の冒頭に、「日本で歴史上、最初に対外的な防衛という言葉が用いられたのは、福岡県の古代山城『大野城』であり、大宰府政廳と水城跡、そして、靈峰「宝満山」と連なる地域に「福岡県立四王寺県民の森」が設置され、大野城跡が築城されている「四王寺山」を中心とした一連の遺産群の文化資源活用についてです。

二年前に「大宰府政廳・水城跡・大野城跡の世界遺産に向けた取り組みについて」質問した知事と教育長の答弁を確認



小川知事「知事のふるさと訪問」井本宗司市長とともに「大野城跡、四王寺山 山頂にて



(九州歴史資料館提供)

なければならなかつた「白村江敗戦後の緊迫感」の痕跡が、水城の土層断面から読み取れた。

まさに国家存亡の危機を目前にしても、決して急ごしらえではなく、当時の先端技術の粹を集めた歴史的な構築物だということを実感した。

教育長には、この事業の意義はどうなものか。また、「大野城跡」の発掘調査において、新たな事実が確認されたと聞き及んでいるが、その調査結果の概要を。そしてこの歴史的遺産群を、今後どのように活用展開されるのか、地元自治体の取り組みを尋ねた。

私は、具体化するための制度があるのではないかと考えている。

まさに国家存亡の危機を目前にしても、決して急ごしらえではなく、当時の先端技術の粹を集めた歴史的な構築物だということを実感した。

教育長には、この事業の意義はどうなものか。また、「大野城跡」の発掘調査において、新たな事実が確認されたと聞き及んでいるが、その調査結果の概要を。そしてこの歴史的遺産群を、今後どのように活用展開されるのか、地元自治体の取り組みを尋ねた。

私は、具体化するための制度があるのではないかと考えている。

このような危機に対抗して外部の文明に対応した日本の水準が、そう違わないことを蒙古に分からしめたことが、橋頭堡を築かせることができなかつた一因である。とも言わされました。

そこで、1350年を迎える歴史的遺産群を活用していく

ことはなかつた。

このようないくために、その時代に於ける緩衝地帯として、世界遺産登録地における緩衝地帯の新たな保全活用等を掲げ、新たな規制の特例措置等として、世界遺産登録地における緩衝地帯の新たな規制の特例措置等の提案である。このように、国が成長戦略である総合特区制度を活用しながら、歴史的遺産群を次世代に継ないでいくことこそ、

今は生きる私たちの責任ではな

いかと知事と教育長に強く要望

しました。

私は、6月1日、JR水城駅前の「ふるさと水城公園」で行われた「特別史跡水城跡100年ぶりの土壠断面大公開」に行き、行列ができる人出の多さに驚かされました。1350年前に防衛の観点で築かれた「古代の高度な土木技術」と併せて、築造を急が

ました。

今年は、「水城」の築造1350年であり、来年は「大野城」築造1350年の年である。

私は、6月1日、JR水城駅前の「ふるさと水城公園」で行われた「特別史跡水城跡100年

ぶりの土壠断面大公開」に行き、行列ができる人出の多さに驚かされました。1350年前に防衛の観点で築かれた「古代の高度な土木技術」と併せて、築造を急が

ることが大切であることから小川さんと訪問」で、大野城市を訪問されたが、知事は、自らの足で「大野城跡」に立たれた。

そして眼下には、福岡平野から筑紫平野へ抜けるところで、平野が最も狭くなる場所を遮断した長さ1.2キロメートルの土壠「水城」が、太宰府市の大堤白村江の戦いに敗れて唐文明の水準を知った。それから50年で世界の文明の最高水準に肩を並べる奈良の平城京を建設。そして、国家防衛網を築き、強大な中央主権国家を短期間でつくつた。また蒙古襲来のときも、十四万の大軍が大宰府政府に押し寄せようとしたが、博多湾から上陸をさせることはなかつた。

このようないくために、その時代に於ける緩衝地帯として、世界遺産登録地における緩衝地帯の新たな規制の特例措置等として、世界遺産登録地における緩衝地帯の新たな規制の特例措置等の提案である。このように、国が成長戦略である総合特区制度を活用しながら、歴史的遺産群を次世代に継ないでいくことこそ、今は生きる私たちの責任ではな

いかと知事と教育長に強く要望

しました。

私は、6月1日、JR水城駅前の「ふるさと水城公園」で行われた「特別史跡水城跡100年

ぶりの土壠断面大公開」に行き、行列ができる人出の多さに驚かされました。1350年前に防衛の観点で築かれた「古代の高度な土木技術」と併せて、築造を急が